**第２回登別市市民自治推進委員会　産業躍動部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２８年５月１２日（木）１８：３０～

◆ 開催場所：アーニス２階　会議室

◆ 出席部会員：部会長　　髙橋　弘康

　　　　　　　 副部会長　川田　弘教

　　　　　　　 部会員　　木村　義恭

　　　　　　　　 　　　　近井　一夫

　　　　　　　　　 　　　安達　陽子

　　　　　　　　　　　　 志水　孝暢（協働推進庁内委員会部会長）

　　　　　　　　　　　　　　　　　 【観光経済部次長】

　　　　　　　　　　　　 井上　昭人（協働推進庁内委員会副部会長）

【観光経済部商工労政グループ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会員　　小川　賢

　　　　　白田　明義

◆ 事　務　局：　　　　　松田　毅　【市民生活部次長】

笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　 　早坂　晃正【市民生活部市民協働グループ担当員】

◆ 議　題：「健康」に関する取り組みについて

**≪事務局≫**

４月２５日に全体会議をし、市民自治推進委員会の方向性が決まりました。

各部会がバラバラな動きをするのではなく、一つの柱を見つけて進めていくという考え方が示され、各部会で共通して議論できるものとして『健康』を柱にするということで委員の皆さんの同意を得ました。

健康といいましても、体の健康だけではなく、心の健康、精神的な意味での健康も含まれており、市民の身体的及び心が健康でなければまちづくりを進めていけないというような考え方に基づいているものであります。

現在の少子化や高齢化、経済の問題もこの健康が基本になるのではないかという考えです。

今日の部会については、健康について皆さんに自由に語っていただき、その中で育み部会として取り組んでいけるような方向性を見出していければと思っております。

また、お手元に配付した資料ですが、登別市総合計画第３期基本計画の第３章にある事業を抜粋し一覧にしていますので、健康に関連付けて何かできる部分や気になることがありましたら、ＦＡＸで送信していただきたいと思います。記入用紙は後日おくらせていただきます。

今後部会をあと２・３回開催し、そのあとに部会長副部会長会議を開催し、それぞれの部会で健康をテーマにどの程度進んでいるのかを情報共有し、進めていければ良いなと思っております。

市の事業に反映できる部分があれば、秋くらいには形になってないといけないとは思っております。

**≪部会長≫**

産業躍動部会として健康をテーマにどんなことができるか、皆さんと意見を出し合いながら進めて行きたいと思います。

　私自身も、このテーマについてどのようなことができるのか、産業躍動との結びつきについて考えましたが、農業、漁業、観光とありますのでその中から考えて行けたらと思います。

　皆さんは何か良いと思う意見はありますか。

**≪事務局≫**

いきなり産業躍動との絡みではなくても、皆さんが思う健康についてお話ししていただいても良いと思います。

そこから、産業躍動に直接リンクすることもあると思いますので、ご自身の健康について思うことをお話しいただければと思います。

**≪部会長≫**

体の健康だけではなく、精神的な健康などもあります。

まずは観光という部分で振り分けて行っても良いかもしれません。

何回か部会もできそうなので、今日は観光についてということでもできます。

**≪部会員≫**

この部会では体より市役所の健康を考えるべきではないか。市役所が健康でないと何もできないのではないかと思います。

**≪庁内委員≫**

この部会なら、企業の健康診断でも面白いかもしれない。

**≪庁内委員≫**

　まず、観光経済部の事業で健康をテーマにするなら食べ物かなと思います。

それと、温泉に浸かることも健康であって、この２つが健康に良いことかなと思いました。

高齢化が進んでいる中で、登別最大の資源である温泉に入ってもらって健康に繋げられないか。

また、農業や水産で健康に繋がる食べ物は何かと考えていくのも一つの手だと思います。

　産業と健康について調べましたが、留萌の振興局では留萌健康産業創出支援プランというものがありました。

３つの柱に分かれており、医療関連機器、フィットネスクラブ等の健康関連施設、無農薬野菜やビタミン剤等の健康食品です。

これを留萌全体で様々な分野の市場を拡大させるための推進プランを行っています。

登別の健康産業で新たな産業ができないかなと思い、話し合いのたたき台にならないかなと思いました。

**≪部会長≫**

少し違った目線で考えてみるということですね。

**≪部会員≫**

消費者協会では、地場産のものを使った料理教室をやっています。また、鹿肉を使った試食会もやりました。

そういったものも一つの考えにならないかなと消費者協会の立場としては思います。

**≪部会員≫**

商工会議所の立場として考えるなら、市内経済をどう発展させていくかが大きな役割となり、健康という窓口を通して何ができるかでだと思います。

どうやって、この地域の企業や住んでいる人の所得を上げてより健康になっていくことができるのか。

先ほどありました温泉や食事であれば、海外の人にここで人間ドックをしてもらい滞在してもらうということもあると思います。

　それと、商工会議所でも議論になっていますが、プラチナタウン構想というものがあります。これは南魚沼市で議決され進められることになっているので、登別でもできないか。CCRC（プラチナタウン）構想を事業化して健康にすることはできないかなどが考えられます。

　これらすべてにおいて、財源はどうするのか。

　ここにある事業を見ていくと、補助金、補給金、積立金、事業、経費、融資制度となっていて、お金に縛りがあると思います。

これを自分達が話し合って変えられるとは思えません。できそうな事業を整理したほうが良いのではないかと思います。

新たな産業を生むことで、所得がどれだけ上がるか、精神的な豊かさや健康を増進していけるかを、この部会でやっていくことなのかなと思います。

**≪副部会長≫**

身体的にも精神的にも、ある程度稼ぎがないと健康になれないものであると思います。

市が行う事業の検証をしてもできないのであれば時間がもったいないですよね。

できるところを議論して、市の事業と照らし合わせて、新たな事業を作るといった話し合いができればと思います。

食であれば、地場産のものを作る食べるを市民の食生活の中で取り入れたり、それを市外に販売するのは自分たち民間でもできる活動だと思うので、そういったことがポイントかなと思います。

**≪部会長≫**

食べることやお風呂に入ることもすべてがお金のかかることであると思います。

先ほど話のありました企業の健康、例えば年金で生活している方も働けて、収入が上がればお風呂も入れる、美味しいものも食べられるといった健康もあるのかなと思います。

**≪部会員≫**

まずは市役所の健康だろうというのは間違いないと思います。

市が健康であるために、市の損益分岐点はどこかをみんなわかっているのか。

例えば、1,000人足りないとなれば1,000人を集める方法を企業は考えます。

1,000人集める方法として、誘致や何かを作り出すということが考えられます。

登別のブランド商品と言ってもほとんど食べたことがないのではないかなと思います。地元の人が食べたことないのに誰かに持っていくことはないですよね。それなら、試食セットを各家庭に配るという方法もあると思います。

東京の人に登別と言えばと聞くと、温泉やクマ牧場と出できますが、地獄谷や鬼は出てきません。だけど登別の人はこだわって鬼ですよね。そこにはずれはないのでしょうか。

相手が思っていることと、自分たちが思っていることに、ずれはないのかを検証することも必要だと思います。

**≪部会員≫**

市民が見て、登別の財政状態がどうなのか見やすくなれば無理なお願いもしなくなると思います。

登別がどういう状態で、どれぐらい人口がいれば良いのか、どれぐらいの収入が必要なのかなどが見えるとわかりやすいと思います。

**≪部会員≫**

市が健康でなければここにある事業も何もできないし、市民も健康でなければいけないと思います。どちらも大切ですね。

**≪事務局≫**

今回の、テーマが健康になった理由の一つとして、医療費の削減を行うことにより、他の事業ができるのではないかという考えがありました。

登別の財政状況として厳しいのは間違いありません。経常比率でいっても１％ぐらいしか新規事業に費やすお金がないという状態であります。

**≪部会員≫**

目標を作らないとできないと思います。

例えば、削減したお金が２億円として、それをどの事業にいくら使うのかなどはっきりしていないと、何も進まないのではないかと思います。

**≪事務局≫**

そこまでの話になってしまうと、ここでの話し合いが高度になってしまい、話し合いができなくなってしまうのではないかと思います。

他の部会でも、難しい話ではなく、健康についての事業をまずは精査して、健康診査の関係などを上げていく方法はないかなどの話が出ていました。

また、後天性の障がい者に閉じこもりがちの方が多いという話があり、そういった人にプールに来てもらうなど、外に出てもらうにはどのような方法があるか。

そのようなことを健康に結び付けていけないか。そのうえで、今ある市の事業について話を聞いて、ないものについて新規事業として考えてもらおうという話になっていまいした。

**≪部会員≫**

この部会においては、市内経済をどう良くするかということになると思います。そのために何をしなければいけないのかだと思います。

**≪事務局≫**

市内経済だけを目的に考えると、テーマが健康ではちょっとどうかと思います。

**≪部会員≫**

健康への切り口を考えて、温泉と人間ドックを絡めて何かできないのかなどですかね。

**≪事務局≫**

それは一つの発想だと思います。

以前にもツアーの中で、外国人を対象に、血液検査でがん検診をしてもらうといった自治体もありました。そういったことを登別で取り入れるにはどうするかを皆さんに案を出していただくということも一つですね。

**≪部会員≫**

例えば全市観光ですが、登別市内に色々な史跡があったり、隠れたスポットや、極端な話、あえて都市伝説的なものを創り、参加してもらうなど。そこに関わるのは地域の人たちで、案内等をしてもらい日当を出して新たな雇用を生むなど。

また、温泉にしかいなかった観光客が、市内全域に行くことによって登別ブランドの販売などもできると思います。そこで、働く人の健康、地域の人の健康に繋げることはできると思います。

そういった話をする中で、この部会ではどこまでの話をするのかですよね。

**≪部会員≫**

ここで沢山話が出ても、誰がやるのか決まらないと前に進まないと思います。

登別市内、色々見てもらい施設などを回るツアーなど、どこかが中心となって動かないと、良いことだからと言っても実際にはできないと思います。

**≪部会員≫**

例えば、温泉にある旅行代理店に依頼するなどはどうでしょうか。

トマムであれば、フロントに今日のアクティビティなどを掲示して受付をしている所もあるので、そういった窓口を置くのもありですね。

**≪事務局≫**

今はゲートウェイセンターがやっており、観光協会の入り口に立てています。

**≪庁内委員≫**

立てるには旅行業の資格が必要になりますので、観光協会の位置でやっているのですか。

**≪事務局≫**

観光協会もできます。

**≪部会員≫**

観光協会から委託された場合、免許がなくてもできますか。

**≪事務局≫**

それはできません。

今ゲートウェイでやっていることはそういった資格とかは必要ないです。

宿泊の斡旋には必要になるが、テーマパークなどの斡旋に関しては必要はありません。

**≪部会員≫**

観光客だけではなく、市内の人に利用してもらわなければ広まらないと思います。

市内の人が利用できるようにしないと。

オンパク（温泉街において行われる温泉を中心としたイベント）という組織があり、その発想は良いと思うので、登別ではどのようにできるのか。

例えばこれを起業化する場合は助成をしていくなども考えられると思います。

**≪事務局≫**

チャレンジ事業という形で補助するとかは考えられます。

**≪副部会長≫**

学生でボランティア活動をしている方がいて、市外から来ているのですが、登別を気に入ってくれて、ここで働きたいと言ってくれています。

起業をしたいとも話していたので、そういった人にチャレンジしてもらっても良いのではないかと思います。

せっかく市外から来ているのだから、1人でも登別に残って働いてもらいたい。

その学生は、実際に何をすれば良いのか分からない状態で、まずできることとして、今は資金をかき集めているそうです。だから、今のような話があれば具現化していけるのかなと思います。

**≪庁内委員≫**

何をしていいか分からないという状況で、セミナーとかの方法もありますね。

**≪事務局≫**

そういうセミナーは創業支援などでありますか。

**≪部会員≫**

商工会議所で起業塾をやっています。

**≪庁内委員≫**

今年やろうとしているのは、創業支援事業費として若干のセミナーの費用はもっています。

**≪部会員≫**

商店街に事務所をつくったからといって活性化になるのですかね。

**≪庁内委員≫**

その事業費の中には、空き店舗活用事業補助金や事業所開設費補助金も含まれています。

空き店舗活用事業補助金は、月５万円を上限に２分の１を１２カ月間空き店舗を利用して商売をされる方を支援するものです。

事業所開設費補助金は、開設に改装が必要である場合に、改装費の２分の１、上限２０万円を補助するものです。これは昨年から行っています。

その前は、起業化支援制度があり、３００万円の補助金を出す内容でしたが、条件が厳しく利用ほとんどありませんでした。これを改めたのが事業所開設費で、昨年は１０件２００万円で事業費すべての利用がありました。

金額を考えると改装費のうちの２０万円では、これを理由に起業したという人はほとんどいないと思いますが、これから起業する時の２０万円と空き店舗を利用するとしたら、効果のあるものだと思っています。

融資を受けて事業を行うとなれば、ある程度のお金ももっていないといけないし、ノウハウもないとできません。信用がないと融資もなかなか受けられません。

**≪事務局≫**

そういった事業の内容をこの部会で使いやすい方法に変えていくのも一つの方法だと思います。

お年寄りであれば、シルバー人材センターを利用して、外に出てもらう機会を増やすといったことを促進するにはどうしたらよいかと考えるのも一つだと思います。以前は６００人登録がありましたが、今は３００人程度に減っているそうです。

**≪部会員≫**

人員は足りないのですか。

**≪事務局≫**

足りていないのか、仕事が少ないのか。ただ、年金受給が６５歳になってからシルバーへの登録は激減しています。

**≪部会員≫**

市も高齢化が進んでいく中で、そういった年齢の人が元気で活動してくれないと、医療費が増えてしまい、どれだけ頑張っても医療費は足りなくなりますよね。

**≪事務局≫**

他の部会では頼まれ農家という話もありました。

**≪部会員≫**

登別でできないか。

**≪部会員≫**

自分で作って食べるなら良いと思うが、商品としては厳しいと思います。

ハウス栽培にしたら少しは良いと思いますが、そこまでお金をかけてやるのはちょっと難しいと思います。

**≪事務局≫**

例えば市で出来ないですか。

**≪庁内委員≫**

ハウス栽培となると水の問題等が出てきて難しいです。

色々と検討してきたから今があります。

**≪部会員≫**

新しいものではなく、畜産、酪農をもっと増やしたり、広くする方法はないのですか。

**≪部会員≫**

そうなると下地がありません。土地がなかったら経営拡大にはなりません。

登別の土地はデコボコしており、一つの畑が大きくないので大きくなっていきません。札内にあれだけある土地も空いている所はない状態です。

**≪副部会長≫**

牛乳は、全量を市で消費されていないと聞きました。

それを市内で消費できるようにするのはどうでしょうか。

**≪部会員≫**

生産者としては全量を必ず買い取ってくれるのであればできなくはないと思います。例えば、学校給食は夏と冬に長期休みになるので、消費が減るから牛乳はいらないとなってしまうと生産者が困ります。

**≪副部会長≫**

以前に、登別の牛乳は品質が良いのでもっと売れるのではという話を聞いたことがありました。もっと広められると良いと思います。

**≪部会員≫**

登別市民が毎日牛乳を飲むことによって、健康にも繋がるのと思います。

**≪部会員≫**

漁業の方も、登別産で加工品などもできるので考えていけると思います。

**≪部会員≫**

登別産のものを見る機会が少ないと思います。

**≪部会員≫**

魚を売ったり牛乳を売るなどの、小さいお店がないと思います。

**≪部会員≫**

ホテル等大型の消費がある場所には生産者も安定して売ることができます。

道の駅などがあると販売しやすいのかもしれないですね。

**≪部会長≫**

はじめということで、健康をテーマに皆さんとお話しさせていただきましたが、次回以降もこのような感じで良いですか。

**≪事務局≫**

今回お配りしている資料ですが、この中で興味のある事業や気になる事業等要望を取りたいと思います。

その中で、今回お話が出ていたものを含めて、この部会でどのようなことができるのかを話し合っていければと思います。

**≪部会長≫**

皆様、お疲れ様でした。

**【次回会議について】**

・引き続き「健康」をテーマに、繋がりのある事業について協議する。

・配付した事業一覧の中で、詳細について確認したい事業があればＦＡＸで事務局まで提出していただき、担当部局からの事業説明を依頼する。

　・次回までに欠席した部会員へ協議内容の説明を行う。

**【次回の日程】**

・平成２８年６月８日（水）１８：３０から

　　　　　　　　⇓

平成２８年６月２９日（水）に変更。